

株式会社C-コネク

---

# 介護医療連携推進会議

令和6年12月18日(水)

定期巡回・随時対応サービス ひのき大泉学園

## 【次第】

---

1. 開催挨拶・自己紹介
2. 介護・医療連携推進会議の目的
3. 活動報告
4. 人事報告
5. 質疑応答
6. 次回開催の案内

## 【介護医療連携推進会議の目的】

---

介護・医療連携推進会議事業所が、利用者・地域の医療関係者・市町村職員・地域住民の代表者等に対し提供しているサービス内容や実績を明らかにすることにより地域に開かれたサービスとする。

またサービスの質の確保を図ること及び当該会議において地域における介護・医療に関する課題について関係者が情報共有を行い介護と医療の連携を図ることを目的としています。

## 【活動報告】利用者の推移

### 利用者数

6月	7月	8月	9月	10月
13名	11名	14名	14名	13名

介護1	1名	2名	3名	2名	2名
介護2	1名	2名	4名	4名	4名
介護3	1名	2名	1名	2名	1名
介護4	5名	2名	3名	4名	4名
介護5	5名	3名	3名	2名	2名



## 【活動報告】訪問回数

### 定期訪問回数

6月	7月	8月	9月	10月
1207回	1054回	1149回	1041回	1090回

### 【利用実績】・排泄 ・服薬 ・お食事の配膳下膳 ・清拭 ・掃除 ・ゴミ出し

◇訪問時に拒否などがある時には時間をずらして再訪問をしています。また時間に余裕がある時には少し時間をかけて掃除やコミュニケーションをとるなど臨機応変に対応することでご利用者様との距離感や関係性を大切にしています。

### 随時訪問回数

6月	7月	8月	9月	10月
16回	12回	19回	16回	26回

### 【利用実績】 ・排泄介助 ・転倒・転落 ・体調不良

◇具合が悪い時や心身の変化が見られる時には積極的に随時訪問する等、適宜柔軟に対応しています。

日々ご利用者様の健康状態や生活状況の観察を行い必要時には関係各所への情報共有を徹底しています。

## 【活動報告】

### 看取り件数

6月	7月	8月	9月	10月
3件	0件	1件	1件	0件

#### ◇介護・看護連携状況

連携先訪問看護ステーション数 …… 8件

看護さんより毎月アセスメントをいただき身体面、生活面における介護上の留意点やアドバイスを受け支援を行っています。

#### ◇定期巡回サービスの周知活動

・月2回、FAXを利用し居宅介護支援事業所に周知

・随時、居宅介護支援事業所・総合病院、クリニックのSWに訪問の上、利用事例等の資料を配布するなどして営業活動を行っています。

# 定期巡回利用事例 ①

性別：男性 年齢：68歳 介護度：要介護2 世帯：独居 訪問看護（医療）

## 疾患・既往歴

◆ 進行性核上性麻痺

## サービスまでの経緯

2020年 左大腿骨頸部骨折の為入院、退院後も転倒を繰り返されていた。2024年の精査で進行性核上性麻痺の診断を受ける。

## 定期巡回導入理由

急激な症状の悪化により転倒が増え歩行困難となる。ご自身で食事の準備やトイレまでの移動が難しくなり栄養状態も低下、定期巡回の毎日の訪問で食事面や室内の安全な移動のサポートが必要となった。近隣に在住の妹様が頻回に訪問し買い物や室内の掃除などを行っているが負担が増えてきた。

## 利用状況

令和6年7月より定期巡回サービス導入

9:00 朝食準備・配膳/下膳・ポータブルトイレ処理・清拭

13:00 昼食準備・配膳/下膳・掃除

15:00 入浴介助 1/W

・夕食は妹様が対応していたが、配食弁当に切り替えた。

◆必要時に随時対応・訪問 → 転倒・困りごと・相談等

## 経過

サービス開始当初は転倒による傷も多くヘルパーがベッド上で全身清拭・軟膏塗布・更衣介助を実施、朝食と昼食の調理と配膳を行っていた。ご自身の病気の進行を受け入れることができず精神的にも不安定な状態が続いていた為、ヘルパーに対しても不穏や命令口調などが見られていた。

体調の変化などは適宜MCSにてケアマネさんや訪看さんに情報共有を行い、体力が付き始めたころからシャワー浴や入浴介助を実施している。（1/W→訪看さん・1/W→ヘルパー対応）

ヘルパーが定期的に訪問しコミュニケーションをはかることでご本人の不安や気分の落ち込みへの軽減に繋がり、一部のヘルパーに対して心の内や不安、またはご自身の趣味についてなどお話しして下さるようになっていく。日々の体調や生活状況を観察することにより今後身体的な介助が増えてきたときにもスムーズに関わっていくことができる。

## 定期巡回利用事例 ②

性別：女性 年齢：89歳 介護度：要介護5 世帯：長男様同居  
通所サービス利用 4/W

### 疾患・既往歴

・アルツハイマー型認知症・甲状腺機能低下症・高血圧症

### サービスまでの経緯

長年にわたり長男様が一人で介護を担っていたが、令和5年11月より訪問介護サービスの援助を開始される。  
令和6年4月に発熱（コロナ擬陽性）の為入院、退院後も状態安定せずレスパイト入院。

### 定期巡回導入理由

陰部のただれの悪化に伴いおむつ交換や陰部洗浄を頻回に行うなど保清が必要、また長男様にも持病があるため介護負担の軽減も必要となる。（夜間のおむつ交換を希望される）

### 利用状況

令和6年5月より定期巡回サービス導入

9：30	排泄介助・清拭・口腔ケア
15：00	排泄介助
19：30	排泄介助・清拭・口腔ケア
23：30	排泄介助

◆必要時に随時訪問→排便時

### 経過

サービス開始当初は陰部のただれと臀部に褥瘡があり皮膚状態の悪化が見受けられたが、1日4回の排泄介助により皮膚トラブルは改善し保清が継続できている。夜間と早朝の入眠中の排泄介助は拒否が強く不穏状態になる為一旦中止し、尿量や皮膚の状態により再開の予定。

また口腔ケア実施により口腔内トラブルにも早い段階で気づきご家族やケアマネさんに情報共有を行い訪問歯科診療に繋がっている。長男様が大変協力的なので排泄介助以外のケアは長男様の出来る範囲でお任せする事により時間の短縮に繋がっている。



## 【人事報告】

---

令和6年度12月現在13名(常勤12名 非常勤1名)のオペレーターと事業所内の訪問介護員及び訪問介護サービスひのき大泉学園と連携しご利用者様への対応を行っております。

◇連携先のきずな訪問看護ステーションではアセスメント実施のみの対応でも協力いただいています。

※ 定期巡回・随時対応サービスでは疾患等から予測されるリスク回避を目的に看護職員による「看護アセスメント」を毎月実施することが基準となっています。ご利用者様は定期的に看護の視点が加わることで安心して在宅生活を続けることができます。

## 定期巡回・随時対応サービス ひのき大泉学園 Q & A

Q 介護度で訪問回数が決まるのですか？

A 介護度で訪問回数が決まるわけではなく、看護さんと介護のアセスメントを実施の上ご利用者様の状態によって回数はそれぞれです。ケアに入り始めて生活リズムや排泄のリズムが見えてきますので随時、訪問の時間帯や回数を見直しを行っています。

Q 定期巡回を利用した際、訪問看護は利用できますか？

A 定期巡回サービスと訪問看護(介護保険)は同時にご利用いただけません。医療での看護サービス以外は看護さんも定期巡回看護サービスとなります。

Q 短期間の利用は可能ですか？

A 可能です。月途中からのご利用は日割り計算でご利用いただけます。また定期巡回では「自宅で最期をむかえたい」「おうちに帰りたい」というご本人やご家族のお気持ちに寄り添い、看護さんはじめ関係各所と連携をとり出来る限りのお手伝いをさせていただきます。

♪ メリット ♪

☆ 24時間体制

☆ 頻回な訪問

☆ 必要時の随時訪問

☆ 定期巡回⇔訪問の切り替え可

## 【次回開催予定】

---

次回令和7年度第1回介護医療連携推進会議は  
令和7年6月開催予定となっております。